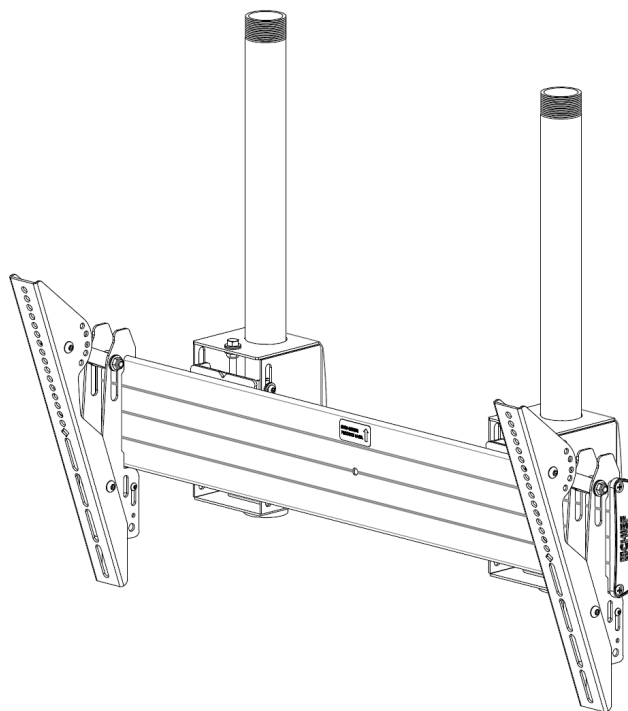


取扱説明書



超大型FPD用天吊マウント 型番：XCM7000



XCM7000 本体
(ポールは付属しておりません)

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。

お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2名以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
- 天井の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

警告：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また

警告：ケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。



設置の前に

■設置場所について



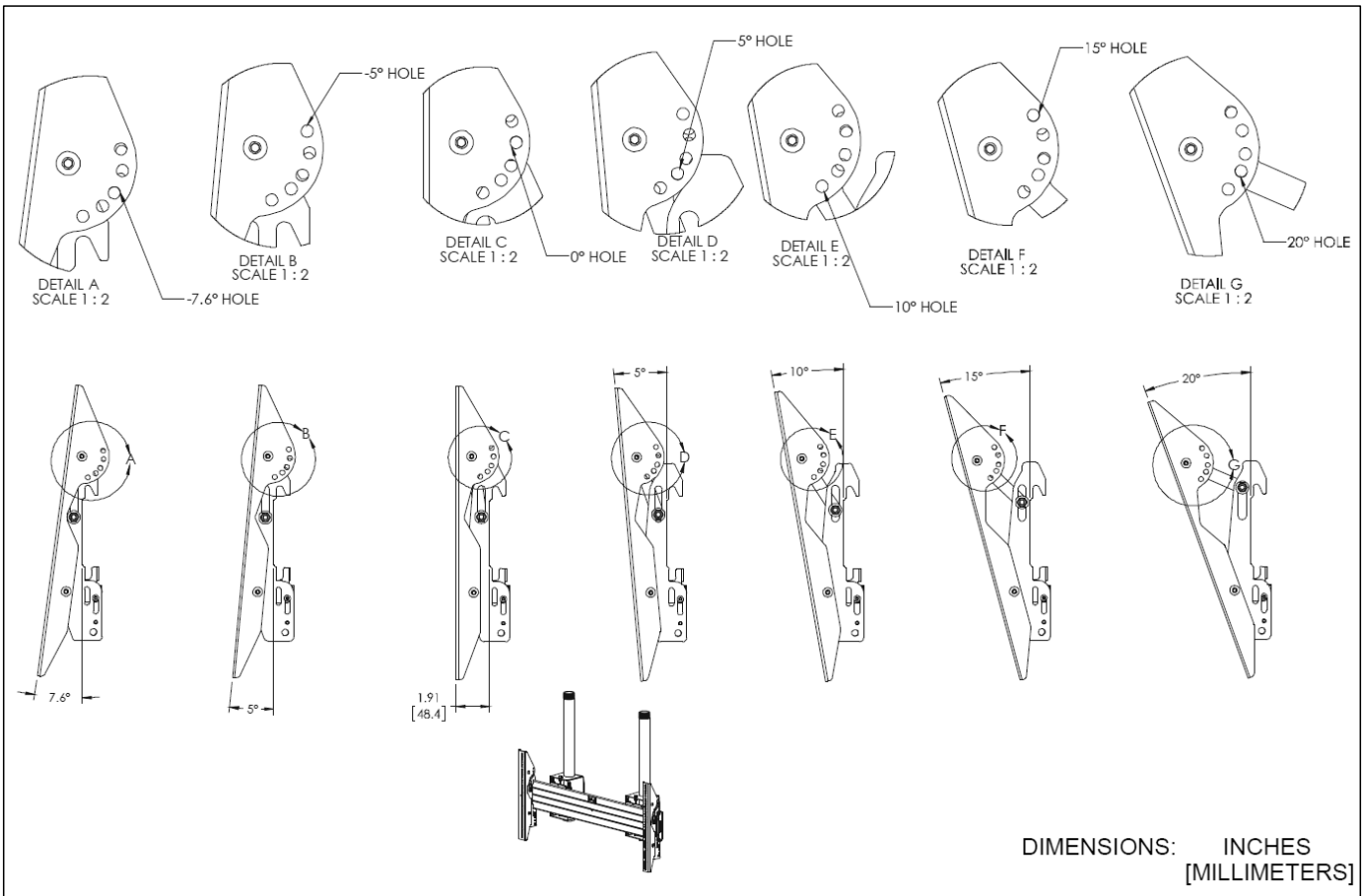
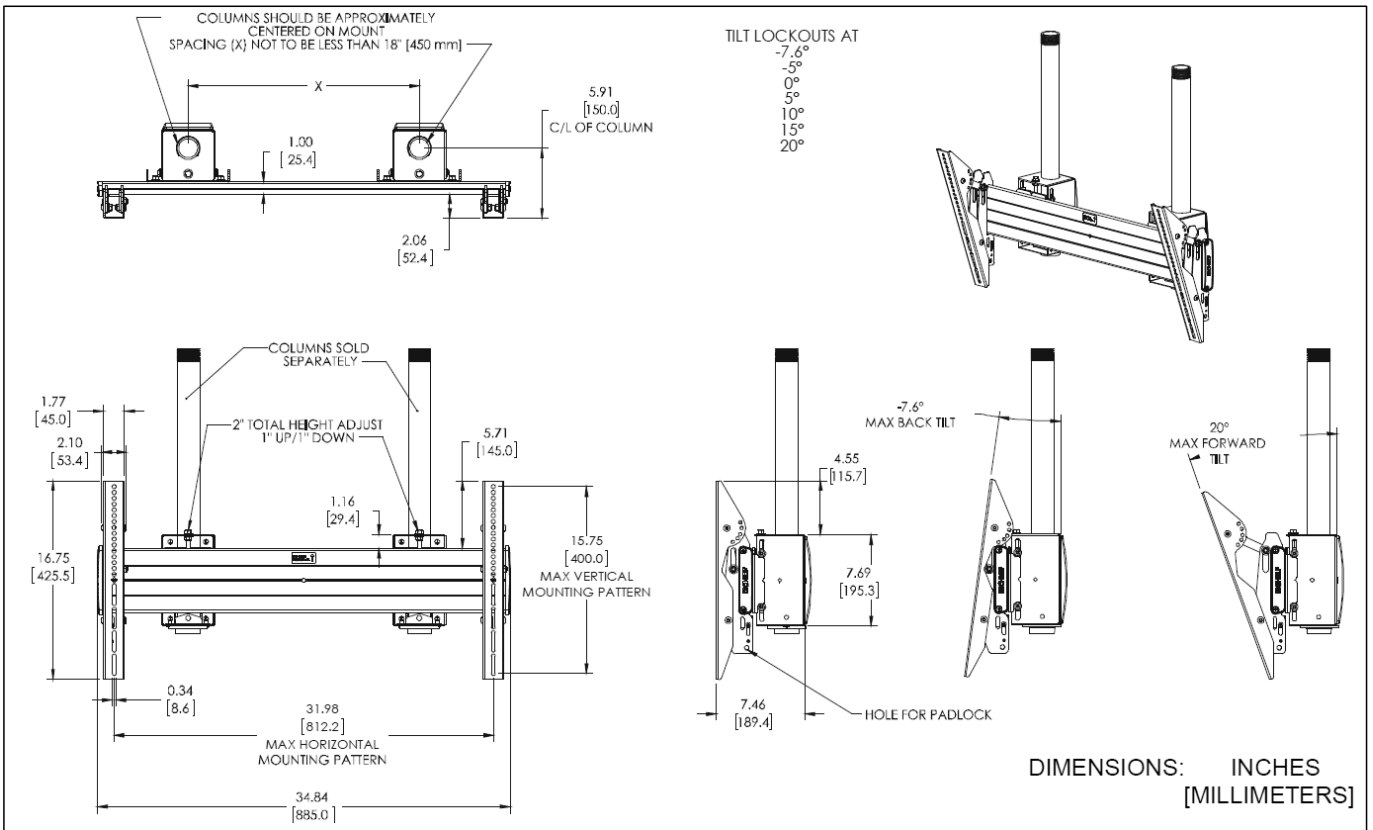
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、天井構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの天井面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

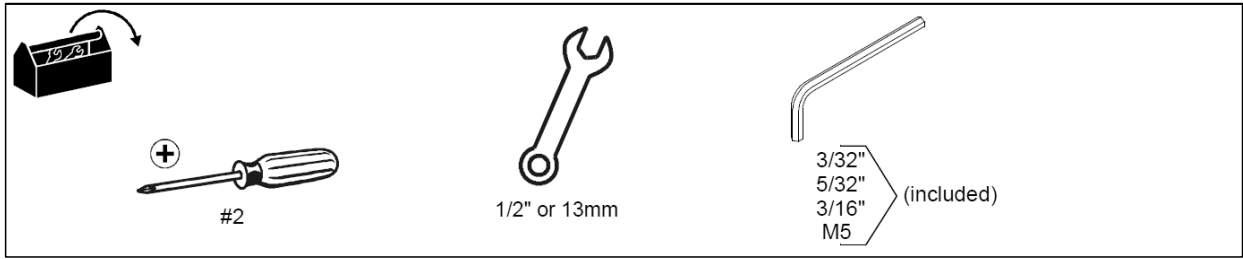
1. 本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、適切な取付場所を決めてください。
2. 設置する天井構造物に対応した取付金具（CHIEFオプション品）、アンカー類やネジ等は、適切で十分な強度を持ったものをご用意ください。必要に応じて構造物に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。
3. 設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
4. 本製品を構造物にしっかりと取付けてください。

■各寸法図



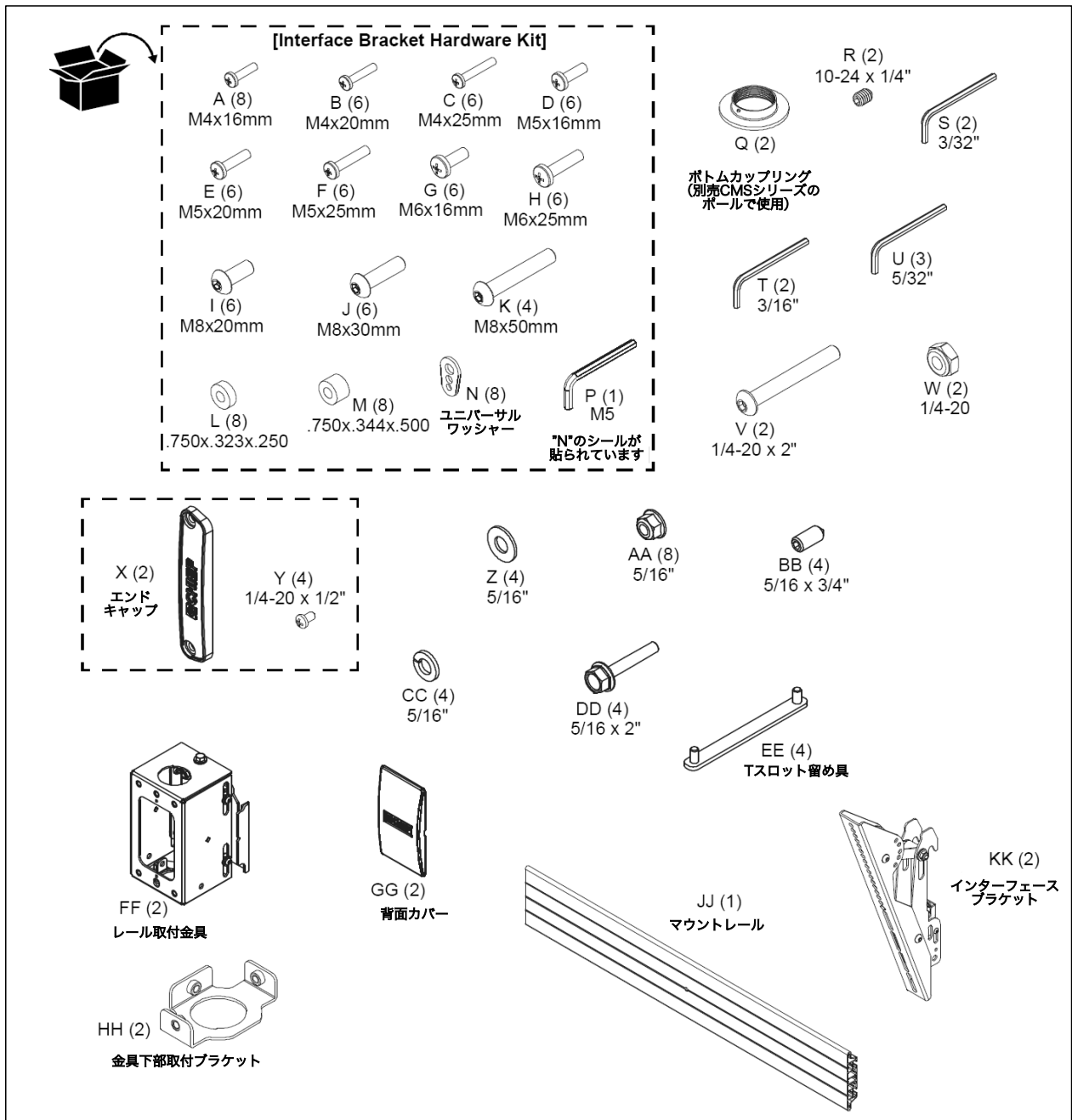
組立手順

■ 本体の組立に最低限準備いただく工具



■ 本製品の封入物

・ 下記の内容物が全て同梱封入されているか、ご確認をお願いします。



■本体部分の組立て

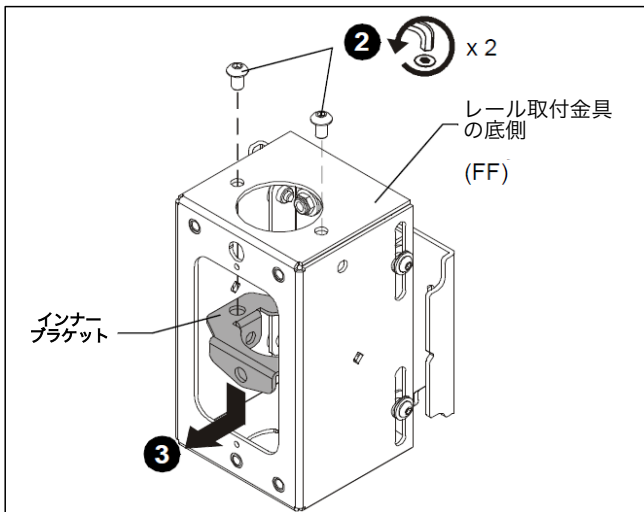
メモ：この製品は天井取付用ですが、取付の際は天井取付金具と延長ポール（CPAシリーズの組合わせ、もしくはCMAとCMSの組合わせ。すべて別売）を使用し、正しく取付を行なってください。

- ・天井取付金具及び延長ポールは2セット必要ですが、必ず46cm(18インチ)以上離して取付けてください。
- ・組立前に必ず寸法表を確認してください。

重要！：最終的にディスプレイの重量が2箇所の天井取付金具に均等に分散されるように設置してください。

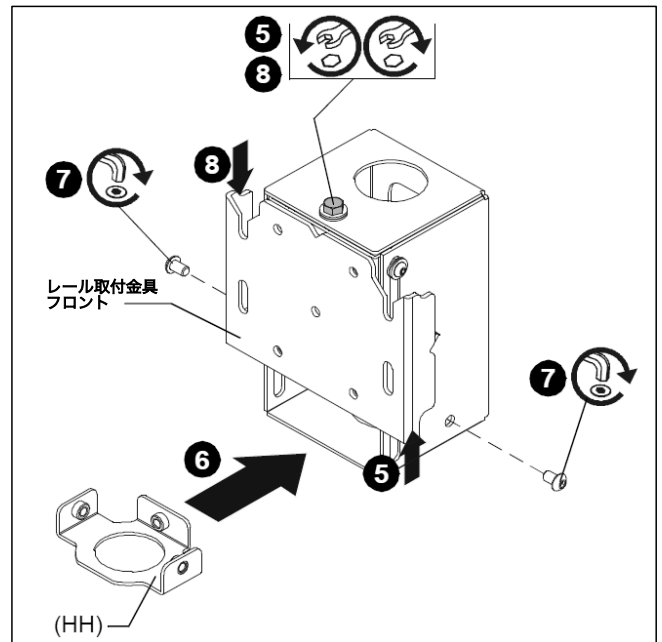
メモ：必要に応じて別売ポール（CPA、もしくはCMA/CMSシリーズ）側の取扱説明書もご確認ください。

■レール取付金具(FF)の準備



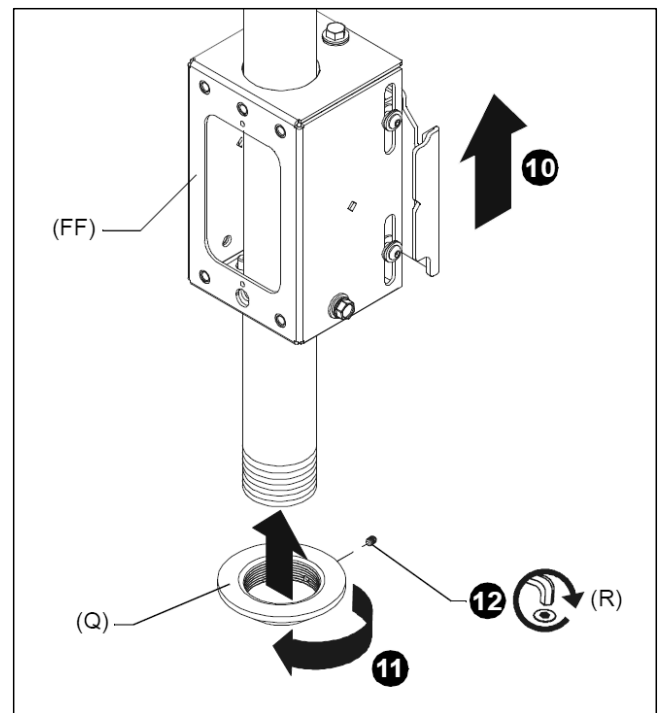
【図-1】

1. 【図-1】レール取付金具(FF)の上下を逆にします。
2. 下部に付いていたビスを一度外し、保管しておきます。
3. ビスで留められていたインナーブラケットを取出します。(こちらは使用しません)
4. 【図-2】レール取付金具(FF)の上下を元に戻します。
5. 【図-2】レール取付金具(FF)上部の調整ボルトを緩め、
6. レール取付金具(FF)フロント部から下部取付ブラケット(HH)を入れます。そのときビス穴は側面と背面に向くようにします。
7. 2.で外したビスで6.で取付けた付属ブラケット(HH)とレール取付金具(FF)を固定します。
8. 5.で開けたフロント部をスライドさせ元に戻し、調整ボルトを締めます。
9. もう一方のレール取付金具(FF)と金具下部取付ブラケットも同様に準備します。(手順1.~8.)



【図-2】

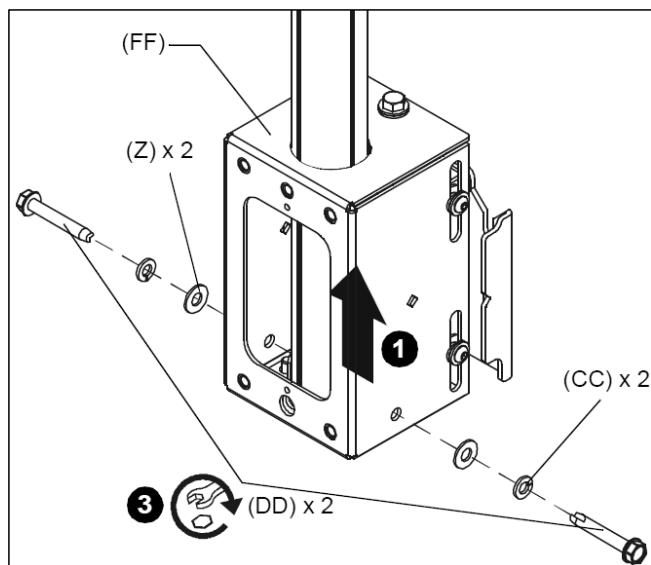
■天井用延長ポールCMSシリーズ（別売）への取付け



【図-3】

10. CMSシリーズ延長ポール(別売)下部から、手順8.までで準備したレール取付金具(FF)差込みます。
11. ボトムカップリング(Q)を延長ポール下部に廻して留めます。最低でも4山は廻し留めてください。
12. ボトムカップリング(Q)を付属セットビス(R)でさらに固定します。
13. もう一方も同様に行ないます。高さを合わせてください。

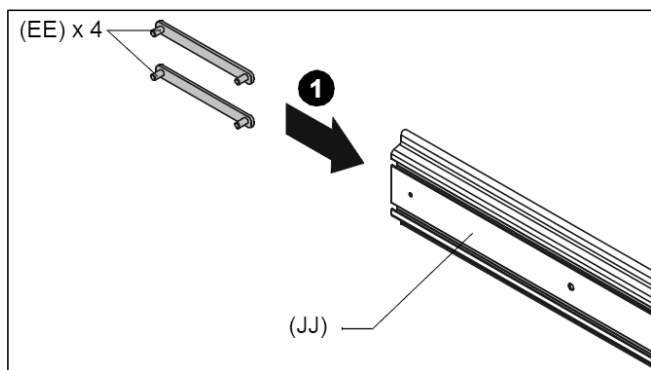
■天井用延長ポールCPAシリーズ（別売）への取付



【図-4】

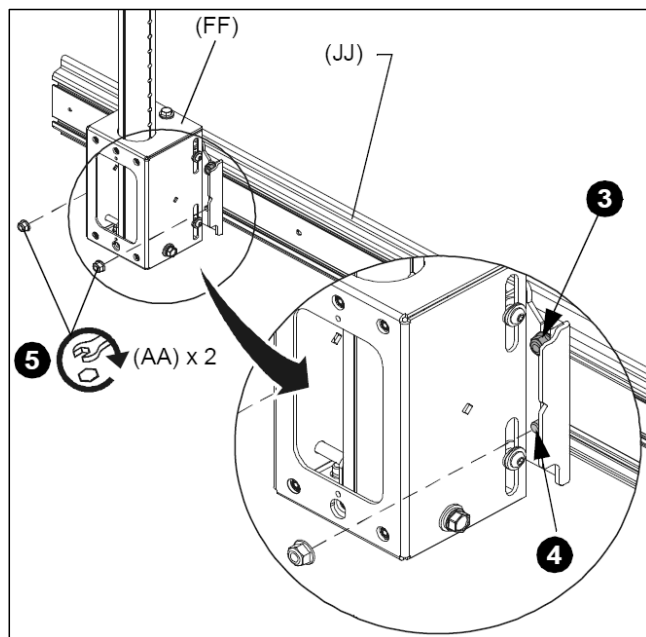
1. 【図-4】 5 ページで準備したレール取付金具(FF)をCPAシリーズ延長ポール（別売）の下から差込みます。
2. ポール側の穴に合わせてレール取付金具(FF)のビス穴とポール側の穴の位置を合わせます。
3. 【図-4】 のように付属セルフタッピングねじ(DD)をワッシャー(Z)、ワッシャー(CC)を間にはさんでポールと金具を固定します。
4. もう一方も同様に行ないます。高さを合わせてください。

■マウントレールの組立



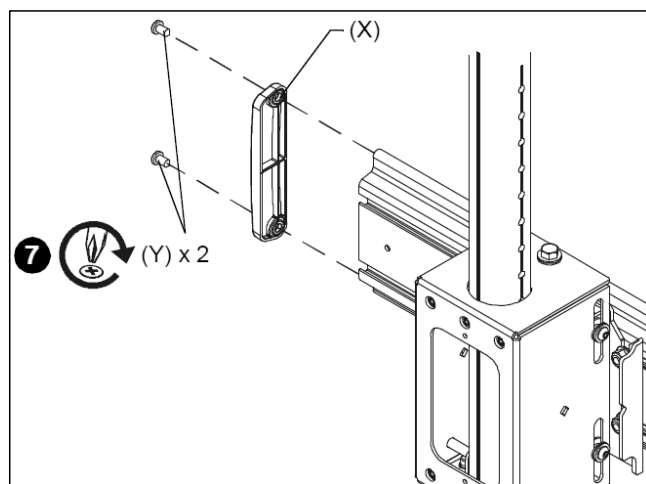
【図-5】

1. 【図-5】 のように、Tスロット留め具(EE) 4本をマウントレール(JJ)の左右上下に差込みます。
2. レール上部のみTスロット留め具(EE)の差込口に付属ロックナット(AA)を軽く留めておきます(仮留め)。



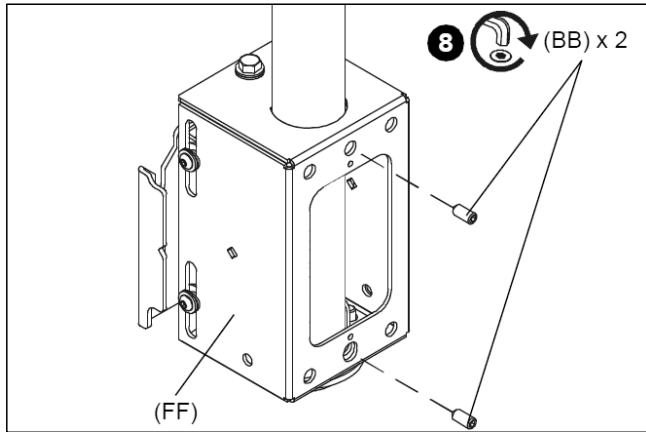
【図-6】

3. 【図-6】 レール上部のロックナット(AA)が付いたTスロット留め具(EE)をポール(別売)側にあるレール取付金具(FF)の上部にスライドさせます。
4. 3.の状態ではレール下部のTスロット留め具(EE)もレール取付金具(FF)にスライドして合わせます。
5. 仮留めしていた金具上部のロックナット(AA)をしっかり留め、下部のTスロット留め具(EE)も同様にロックナット(AA)でしっかりと留めます。
6. もう一方のレール取付金具(FF)も同様に行ないます。



【図-7】

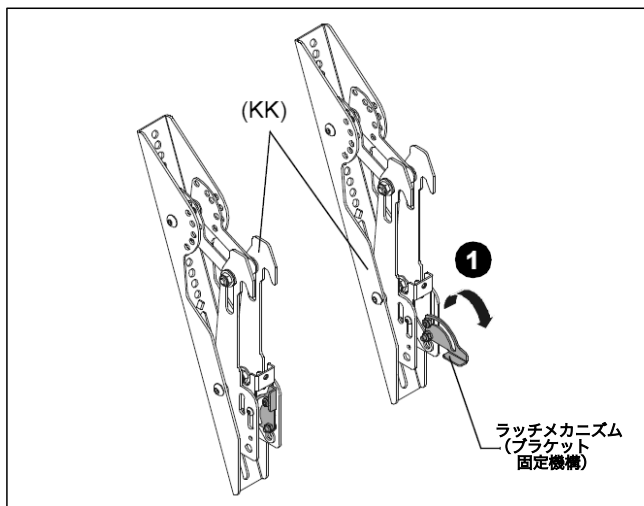
7. 【図-7】 レールの両サイドにエンドキャップ(X)をはめ込み、付属ネジ (Y) でそれぞれ留めます。



【図-8】

8. 【図-8】のように付属ネジ(BB)でポールにしっかり固定します。

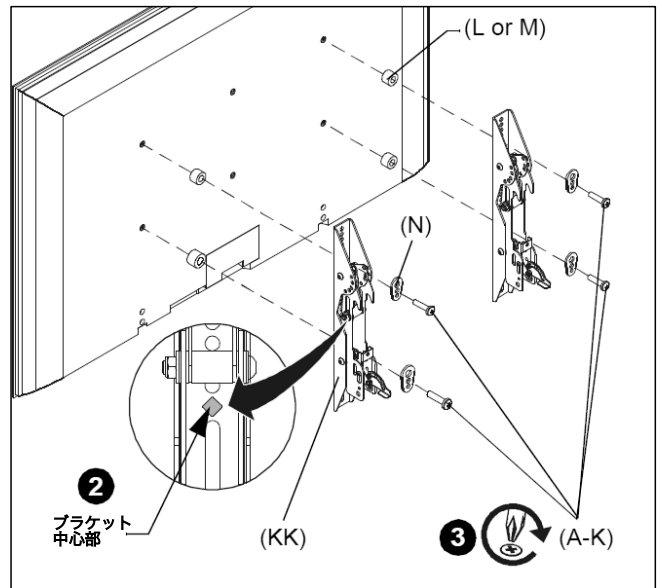
■ディスプレイ側ブラケットへの取付



【図-9】

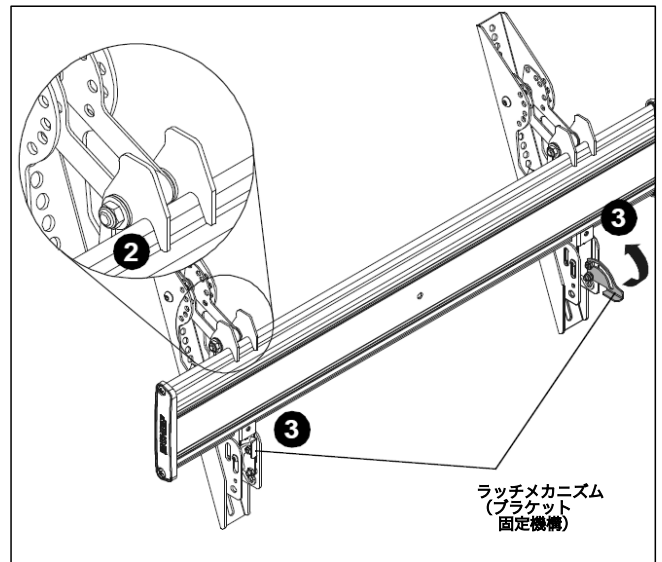
1. インターフェースブラケット部(KK)にはラッチメカニズムがついています。ディスプレイ着脱時はレバーを手前に倒しておきます。
2. 取付けるディスプレイの垂直中心とインターフェースブラケット(KK)の垂直中心部をあわせませす。
メモ：ブラケットの菱形の穴がちょうど垂直中心になります。
3. 【図-10】必要に応じてディスプレイとブラケットの間にスペーサー(L)もしくは(M)を挟み、付属ネジの中から適切なタイプ(AからN)を用いてディスプレイに本体ブラケット(KK)を取付けます。

警告：適切なネジを使用しないと、ディスプレイの落下による重大な事故の原因になる可能性があります。
ディスプレイの種類によってスペーサーを用いる、スペーサーとディスプレイまでに十分な長さのネジを使用するなど、必ず適切なタイプをご使用ください。



【図-10】

■ディスプレイのマウントレール(JJ)側への取付け



【図-11】

警告：超過重量は落下による重大な事故の原因となります。施工業者の責任において、本製品を含めた全ての構造物は、136kg(300lbs)を超えないようにご注意ください。

注意！：ディスプレイ側をレールに設置する前に、マウントレール(JJ)にエンドキャップがしっかり取付けられているかご確認ください。

重要！：ディスプレイはブラケットの機構でレールに設置する前でも後でも垂直角度調整ができます。詳しくは、次ページのディスプレイの調整記述欄をご確認ください。

1. 【図-9】のようにインターフェースブラケット部(KK)のレバーを手前に倒しておきます。

2. 前ページ【図-11】のようにディスプレイ側ブラケット部のフックを本体マウントのレール部に引っ掛けます。
3. 左右ブラケットのレバーを本体側に収納します。

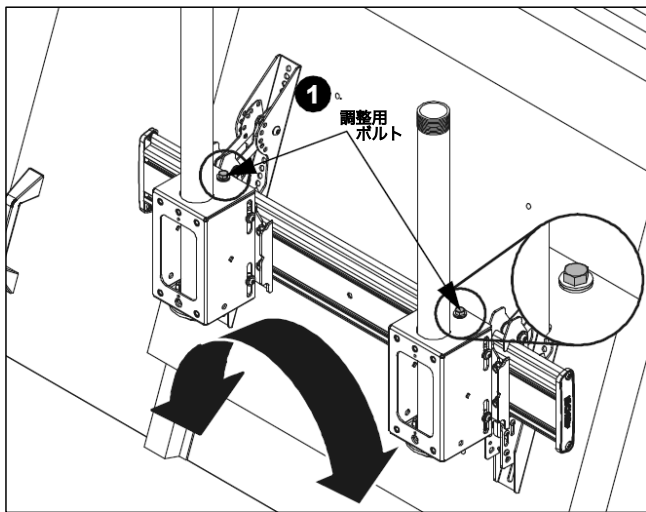
■ディスプレイの調整

注意：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。



・高さ(水平)調整

50.8mm(2インチ)までの調整が可能です。



【図-12】

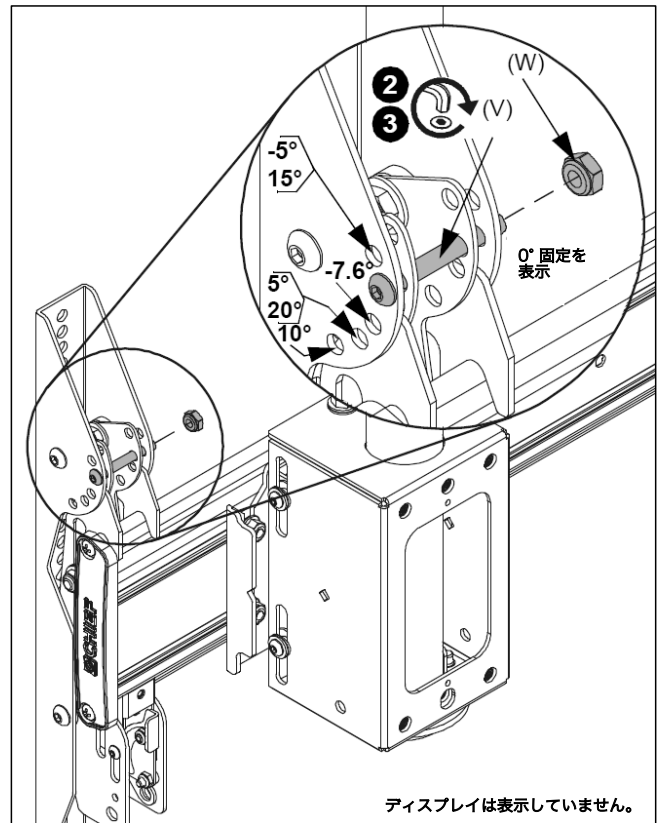
1. 【図-12】の調整用ボルトで高さおよび左右の水平方向の調整をします。

・角度調整

メモ：角度調整は2名以上で行なってください。

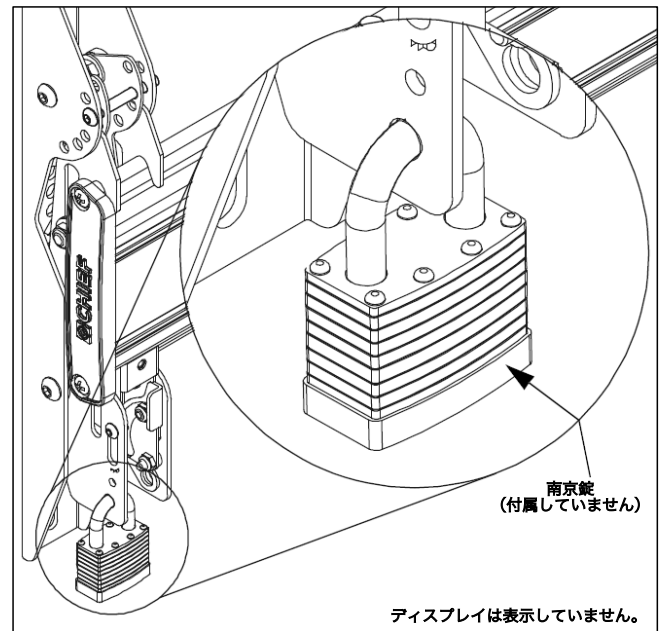
インターフェイスブラケット(KK)は、-7.6°から20°まで調整できます。また、-7.6°、-5°、0°、5°、10°、15°、20°で固定できます。

1. 【図-13】角度調整してください。
2. 上記角度固定の場合は、付属ネジ(V)とナット(W)でそれぞれの角度穴で固定してください。
3. もう一方の角度調整も同様に行ないます。



【図-13】

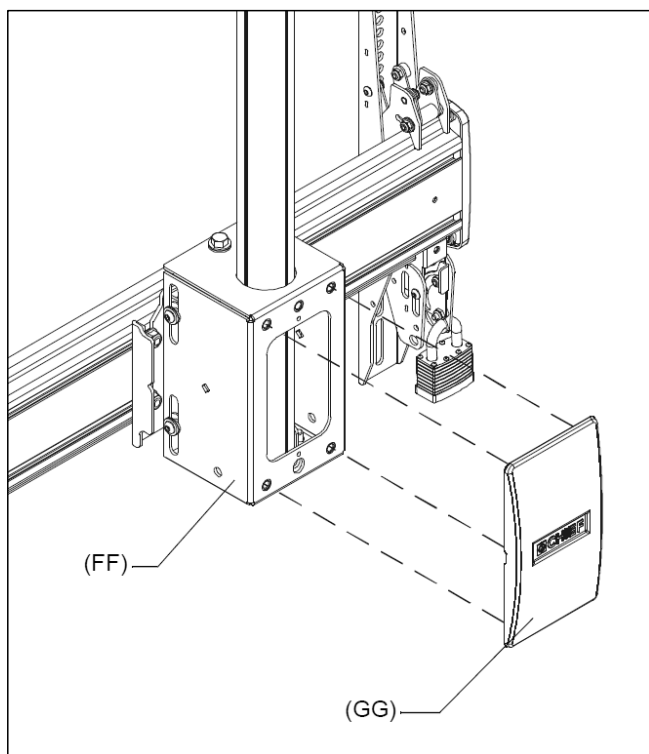
■セキュリティロックシステム（オプション）



【図-14】

- ・必要に応じて、インターフェイス部に市販の南京錠を取り付けることも可能です。

■化粧カバーの取付け



【図-15】

- ・ 【図-15】 のように背面カバー(GG)をそれぞれのレール取付金具(FF)の4穴に合わせてはめ込みます。

memo

(Large area with horizontal dashed lines for memo writing)

<http://www.avc.co.jp/>



■ システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144